

普通徴収切替理由書(兼仕切書)

市区町村名		指定番号	
事業者名			
符号	普通徴収切替理由		人數
普A	総従業員数が2人以下 (下記「普B」～「普F」に該当する全ての(他市区町村分を含む)従業員数を差し引いた人数)		人
普B	他の事業所で特別徴収(乙欄適用者)		人
普C	給与が少なく税額が引けない(年間の給与支給額が110万円以下)		人
普D	給与の支払が不定期(例:給与の支払が毎月ではない)		人
普E	事業専従者(個人事業主のみ対象)		人
普F	退職者、退職予定者(5月末日まで) 及び休職者		人
合計		人	

【普通徴収切替理由書の記入提出方法】

- 1 普通徴収を認める基準に該当し、かつ普通徴収を希望する方がいる場合は、給与支払報告書と併せて普通徴収切替理由書を提出してください。提出がない場合、原則として特別徴収となります。
- 2 該当する理由の右側「人數」欄に人數を記入し、個人別明細書の摘要欄に理由に該当する符号(普A～普F)を記入してください。記入後、理由書の合計人數と個人別明細書(普通徴収分)の枚数が一致することを確認してください。
- 3 特別徴収に該当する方と普通徴収に該当する方がいる場合は、仕切書として普通徴収の方の個人別明細書の上に付け、総括表や他の個人別明細書を下記「提出時のつづり方」の順に重ねて提出してください。
- 4 普Bは他事業所が支給する給与から住民税が特別徴収される方(乙欄適用者)が対象となります。
- 5 普Fの退職予定者がいる場合、個人別明細書の摘要欄に退職予定日を記入してください。
また、休職者とは、休職により4月1日現在で給与の支払を受けていない場合に限ります。
- 6 eLTAX等の電子媒体で給与支払報告書を提出する場合は、該当する方の個人別明細書の「普通徴収」欄に必ずチェックを入力し、摘要欄に理由に該当する符号(普A～普F)を記入してください。
(この場合、普通徴収切替理由書の添付は不要です)

《提出時のつづり方》

- 個人別明細書
特別徴収となります。
- 普通徴収切替理由書
(兼仕切書)
個人別明細書の特別徴収分と普通徴収分の仕切紙としてご使用ください。
- 個人別明細書
(理由書記入分)



《個人別明細書記載例》

社会保険料	該当する符号を必ず記入してください。	生命保険料
内	(摘要)	千
	普 F	
平成××年3月31日退職予定		
生命保険料の金額	新生命保険料の金額	年金保険料の金額

退職予定者がいる場合、退職予定日を記入してください。

※点線で切り取ってご利用ください。